

都市再生整備計画(第3回変更)

お が わ ら こ
小川原湖周辺地区

あ お も り け ん と う ほ く ま ち
青森県 東北町

平成26年 10月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

変更なし

都道府県名	青森県	市町村名	とうほくまち 東北町	地区名	おがわらこしゅうへん 小川原湖周辺	面積	950 ha
-------	-----	------	---------------	-----	----------------------	----	--------

計画期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標
<p>大目標：小川原湖を軸とした観光振興と交通環境改善による地域住民・観光客の賑わい拠点の創造</p> <p>目標1：交通条件の整備改善により、小川原湖への観光客誘導と共に、水産業の活性化により一層の地域振興を図る。</p> <p>目標2：鉄道により分断された中心地の交通条件を改善し、中心市街地のアクセス条件、歩行者の快適性の向上を図る。</p> <p>目標3：花切川の整備により、住民の環境美化意識の醸成、観光振興と次世代に引き継ぐ自然環境の保全・再生を図る。</p>

目標設定の根拠
<p>まちづくりの経緯及び現況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当町の甲地集落より北部方面の住民にとっては、小川原湖での花火大会を初め各種イベント会場及び小川原湖公園(湖水浴場等)へのアクセス道路としては、県道水喰・上北停車場線より主要地方道八戸・野辺地線を通過し町道437号線を通るルートしか無く、小川原湖公園の利用がしにくい状況であるとともに、イベント時の混雑の原因にもなっている。また当町での小川原湖に点在する漁業基地(浜台・田ノ沢・舟ヶ沢地区)から小川原湖地区卸売市場までの魚介類の運搬も同様のルートを利用しているため運搬に不便をきたしている。 ・小川原湖への別ルートである間手場幹線は、現在砂利道であり凸凹がかなりあり、快適に通行できる状態ではない。また、花切橋はW=3.2mしかなく(L=50m)老朽化に伴い大型自動車等の通行が制限(T-5)されており、迂回を余儀なくされ、東北町の重要な資源である水産物の活用の妨げになっている。 ・小川原湖にそそぐ花切川沿いは桜の名所であるとともに、全国へらぶな釣り大会が開催されるなど地域住民の憩いの場となっている。しかし、近年上流部の土羽堤が浸食され、河床の堆積物の増加等により水質が悪化し、早急な改善が求められている。 ・乙供駅及び上北町駅周辺では、町商工会、観光協会が中心となり、夏祭り、ドリンクラリー等、中心街の賑わいの創出のための取り組みが進められているが、中心市街地が鉄道で東西に分断されていることから、歩行者空間の改善が求められている。 ・乙供駅・上北町駅の両駅は、駅舎出入り口が西側にしかなく、駅東側住民の駅利用には、踏切を越え西側の駐車場・駐輪場を使用しなければならず不便を強いられている。 ・花切川の右岸、左岸共に、W=3.0mの砂利道であり、歩行者と自動車ですれ違うには危険である。また凸凹による水たまり等もあり、花見時期等の歩行者の散策に支障を生じている。

課題
<p>社会態様の変化により、人口の自然増が期待できない今日において、観光を軸とした交流人口を増加させ地域経済を活性化し、中心市街地の活性化を図り地域の賑わいを創出することが緊急の課題である。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の街路・広場等の基盤条件が不十分であり、住民や観光客のアクセス性が十分でなく、地域の賑わい創出のネックとなっている。 ・小川原湖への別ルートである間手場幹線は、現在砂利道であり凸凹がかなりあり、快適に通行できる状態ではない。また、花切橋はW=3.2mしかなく大型自動車等の通行が制限されており、迂回を余儀なくされ東北町の重要な資源である水産物の活用の妨げになっている。 ・小川原湖への流入している花切川の水質悪化が進み、観光・漁業の軸となる小川原湖への影響が心配されている。 ・駅周辺の商店街は鉄道により東西に分断されており、東西の商店街を行き来するのは時間がかかり、東西住民の交流の妨げにもなっている。

将来ビジョン(中長期)
<ul style="list-style-type: none"> ・当町のまちづくりの核である農業と水産業の振興に努め、全国ブランドとして誇りうる安全・安心な食料供給の基地の形成を進めるとともに、森林の保全・管理を促進する。また、市街地整備と連動した町民との協働による商店街の環境・景観整備や新規優良企業の立地促進、産業支援・研究開発機能の強化等により、商工業の振興に努める。さらに、多様な観光・交流資源の活用を図り、観光・交通機能の拡充に努めるほか、関係機関との連携のもと、雇用対策や後継者の定住促進施策を推進する。 ・すべての町民が住み慣れた地域で支えあい助け合いながら健康で元気に暮らせるよう、充実した健康福祉環境や町民活動が活発な地域性、優れた温泉資源を生かし、健康寿命を伸ばす保健・医療環境づくりを総合的に進めていくとともに、町民との協働に基づく地域福祉体制づくりを進める。 ・みどりの大地と小川原湖に代表される優れた自然環境・景観の保全をはじめ、あらゆる環境問題に対応した総合的な環境施策を町民と一体となって推進し、小川原湖を有する町として、環境先進のまちづくりを進める。

目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
小川原湖公園地区来客数	人/年	桜祭り、湖水祭り等のイベント及び小川原湖公園への来客数	交通条件の整備改善により、小川原湖周辺へのアクセスルートを増やすことで、小川原湖公園への来客を増加させる。	710,000	H22	800,000	H27
花切川の釣り人口	人/年	花切川釣り客数	花切川の環境整備により、釣り客を増加させる。	4,300	H22	5,500	H27
町道間手場幹線の交通量	台/12H	町道間手場幹線の乗り入れ交通量	町道間手場幹線以北地域から小川原湖公園区域までの交通環境を改善することにより、町道間手場幹線の交通量を増加させる。	125	H22	250	H27
駅自由通路の利用者満足度調査	%	乙供駅、上北町駅東西自由通路の利用者アンケートによる満足度調査	乙供駅、上北町駅に自由通路を整備することによって、利便性の向上が図られたかどうか、自由通路利用者に対し満足度調査により評価を行う。	44.5	H22	51.5	H27

都市再生整備計画の整備方針等

変更なし

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・小川原湖周辺への観光客誘導や町の地域資源(水産業)活用のため、交通機能を改善する。また、花切川の護岸整備により、小川原湖を含めた環境改善を実施し、地域振興の活性化を図る。 	道路(基幹事業:道路) 地域創造支援事業(提案:護岸整備)
<ul style="list-style-type: none"> ・駅周辺の賑わいを形成するため歩行者用の東西自由通路の整備を行う。 	高次都市施設(基幹事業:自由通路)

その他
<ul style="list-style-type: none"> ○事業完了後の継続的なまちづくり活動 ・小川原湖の水質保全については小川原湖・高瀬川流域水質環境ネットワークが調査・保全活動を実施しており、同活動ともに地域住民を更にまきこんだ「自ら行う地域の保全」意識醸成を進める。 ○関連する事業等 ・東北町「小川原湖環境再生」計画を策定し、汚水処理施設整備交付金を活用した公共水域の水質改善に取り組み、観光振興と自然環境の保全・再生を目指している。 ・地方債を活用し、旧東北地区と旧上北地区を連絡し、小川原湖の周遊道路ともなる町道蓼内・根前線等の整備を進めている。

小川原湖周辺地区(青森県 東北町)	面積 950 ha	区域 上北郡東北町 旭北、旭南、上北北、上北南、大浦字大浦、大字大浦字上野、字間手場、字弥太郎、字鳥口平、字乙越、字往來ノ上、字素柄邸、字水尻、字土場川、字外姥沢前平、字内姥沢道ノ上、字ほとけ沢、字下笹橋、字膳前
-------------------	--------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------

